

2019年3月26日

各位

株式会社ジェネティックラボ

**平成31年度ノーステック財団【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助事業」の採択  
および平成30年度「先端研究産業応用検証補助金」の受領に関するお知らせ**

株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、北海道札幌市）は、昨年引き続き、平成31年度ノーステック財団【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に採択されることが内定いたしましたのでお知らせいたします。

**【概要】**

研究内容：「NGS診断技術を応用した早期肺癌ゲノム検査・研究連動型事業の構築」  
補助金交付予定額：3,600千円  
補助対象期間（予定）：2019年4月1日から2020年3月6日まで

北海道大学病院 臨床研究開発センター・生体試料管理室（バイオバンク）およびゲノム・コンパニオン診断研究部門と連携し、手術時に採取された肺癌組織から次世代シーケンサー（NGS）<sup>※1</sup>を用いたマルチプレックス体細胞遺伝子検査<sup>※2</sup>と術後のデジタルPCR<sup>※3</sup>を用いた血漿ctDNA検査（リキッドバイオプシー<sup>※4</sup>）を組み合わせ、切除可能な肺癌患者のゲノムプロファイリングや術後再発モニタリングに基づくゲノム診療と研究を連動した仕組みを構築し、肺癌患者の今後の治療に役立てることを本事業で目指します。

なお、平成30年度採択された当補助金12,800千円に関しましても、精算が完了し、当初申請どおり今年度中（振込予定日：平成31年3月28日）に支給されることが決定いたしました。

- ※1 次世代シーケンサー（NGS）：  
遺伝子の塩基配列を高速に読み出せる装置。塩基配列を並列に読み出せるDNA断片数が、従来のDNAシーケンサーに比べて桁違いに多い。このため、ゲノム（遺伝情報）を圧倒的に低いコストと短い時間で解析することを可能にする。
- ※2 マルチプレックス体細胞遺伝子検査：  
多重的で長大な遺伝子の中から欠失や重複を検出する検査。
- ※3 デジタルPCR：  
従来のリアルタイム定量PCRに代わって、核酸の絶対定量や希少対立遺伝子検出を高い精度で行うことができる装置。
- ※4 リキッドバイオプシー：  
主になん領域で行う組織採取の生体検査（バイオプシー）をリキッド（液体：血液など）で代用させる技術。生体採取時の患者への負担が少ないことが特長。

**【株式会社ジェネティックラボについて】**

2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 先端医療事業部  
〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F  
E-MAIL: [info@gene-lab.com](mailto:info@gene-lab.com) <http://www.gene-lab.com/>